

金融経済教育活動のデジタル化の推進に向けた取組み等について

1. 前回会合の振り返り

【事務局説明】（配布資料 1 より抜粋）

今次新型コロナウイルス感染拡大が金融経済教育活動に与えた影響と課題

～（途中略）～

2. 課題

（1）デジタル化の推進

- 今次コロナ禍を受けた金融経済教育上の課題については、各関係団体等とも、今後の社会全般に亘る ICT 化の一層の進展を見据え、デジタルコンテンツの拡充や ICT を活用した教育活動・情報発信の強化が必要であることを改めて認識。（途中略）オンライン講座の長短所を授業形態別に整理すると、リアルタイム型は従来の対面式授業に近い長所が期待できるものの、供給サイドの担い手の問題（講師制約）は残存し、加えて、需要サイドの学生のコスト負担の問題もある。そうした点を勘案すると、**大学生向け講座については、従来の対面式に加え、オンデマンド型・映像配信型（音声付き）の授業の実現を検討する意義があると考えられる。**

【事務局補足発言】（議事録より抜粋）

「そういう意味で、本席の委員の先生方からご了承いただけるようであれば、例えば一案ですが、従前、本会議で作りましたコアコンテンツのようなものをベースにして、これを動画展開することで、ある種の e ラーニングシステムのようなものを整えていくような試みは、一つの考えとしてはあるのではないかと考えております。」

【審議内容】

- 金融経済教育活動の「デジタル化の推進」自体には**異論なし**。
- ただ、推進に当たっては、①**対面式とオンライン式の使い分け**に留意すること（それぞれに得失がある）、②**デバイスの多様化**（スマホ、タブレット、PC）に配慮すること、③**いわゆるデジタル弱者のフォロー**にも引き続き取り組むこと、という趣旨の意見が複数の委員より出された。

2. 金融リテラシーに関する e ラーニング講座の組成プロジェクト

(本会議関係省庁・団体の実務者レベルでの検討状況の報告)

—— 関係省庁、団体作成の動画教材、コンテンツは、**別紙 1 参照**。

(1) e ラーニング講座開講の趣旨

- ① 長期に亘る外出困難時（現下のコロナ禍のようなパンデミック発生時等）においても、金融経済教育活動の継続を可能とすること。
- ② 教育現場等でオンライン教育が広範化する中で、金融経済教育についても、ICT を駆使した教育ツールを拡充する必要性が高まっていること。
- ③ オンデマンド型のオンライン講座は、講師・受講者双方の時間的・場所的な制約を解消可能であるため、金融リテラシー講座の面的・量的な拡大が期待できること。

(2) 講座の概要

(2-1) 対象

- 大学生および同年代の若手社会人のうち金融リテラシーについてある程度**の関心を持つ層**を主たる対象として想定。

(2-2) レベル感

- 「金融リテラシー・マップ」の「大学生」相当（具体的には「**大学半期 15 コマ用の講義（以下「連携講座」）資料**」および「**コアコンテンツ**」の内容をベースにする）。

(2-3) 構成（**別紙 2-1 参照**）

- ① 「モチベーション動画」
 - ・受講の**動機付け**と本講座の宣伝のための 5~10 分程度の短編動画。
- ② 「コンテンツ動画」
 - ・主要分野の主要テーマに関する **20 分前後の講義動画**。
 - 講師は、各テーマの担当省庁・団体が選定（講師派遣に係る費用については、原則として派遣元の省庁・団体の負担）。
 - 各動画では、冒頭で、**なぜ当該講義の受講が必要か（有用か）**を簡潔に説明（動機付け）。また、最後に、**受講者の更なる深掘りのため、講師派遣元等の関連サイト（含む対面式講座案内）**を紹介する。

- ICT の強みを活かし、必要性に応じて、演習ツール（シミュレーションゲーム等）を活用し、**可能な限りアクティブ・ラーニングの要素を取り入れる。**
- 掲載する資料については、スマホによる視聴も想定した分かり易い内容とする。

③ 習熟度確認テスト

- ・ 講義終了後に習熟度確認テストを設ける（形式は本講座を掲載するプラットフォーム<後述>の仕様に合わせて作成）。内容は選択式問題 5 問（回答の選択肢は 5 つ）を想定。
- ・ このほか（システム上可能であれば）講義に対する感想や質問を記入するコーナーを設ける。質問に対しては、FAQ を作成して適宜対応する。

（2-4）プラットフォーム

- 本講座の運営・管理は、**民間業者が一般に向けて無料で提供する e ラーニングシステム（具体的には MOOC<Massive Open Online Course>と呼ばれるオンライン学習サイト）に委託する**ことを想定。
 - 上記システムでは、通常、受講資格は設けられていないが、受講前に所定の事項を登録する形。

（2-5）主な活用のイメージ

- ① 大学生等の自主学習（自己研鑽）
 - 【自主学習を促すための仕掛け（動機付け）】
 - ・ **民間の学習サイトへの掲載**（上述）
 - ・ 全講義修了者（全講義を視聴し各習熟度テストで一定以上の成績を修めた者）に対する褒賞（**修了証の発行等**）
 - ・ **講師派遣元団体等のHPとのリンク**
- ② 連携講座その他単発講座の復習
- ③ **対面式やテレビ会議システムでの授業における活用**

（3）講座の組成・運営に関する事項

- ① 費用負担
 - ・ 本講座の組成（スタジオにおける撮影や委託業者による編集等）・運営に係る費用は、一括して**金融広報中央委員会**が負担する。

② 維持管理（PDCAサイクル）

- ・各講義の受講動向や習熟度テストの結果、受講者からの感想・質問等を踏まえ、講義内容の改訂や、テーマのスクラップ・アンド・ビルドを行い、コンテンツのクオリティの向上を継続的に図る（年1回、それらのリバイスの要否を点検・判断する）。

③ ブランディング

- ・本講座の宣伝効果を高めるため、構成、表紙・目次、各スライドの文字スタイルを統一するほか、新たに推進会議のロゴを作成し、適宜の箇所に挿入する。

（4）作成スケジュール（別紙2-2参照）

- 2021年9月の開講を目指す。

3. コロナ禍での一般照会窓口の対応状況（詳細は別紙3参照）

（「いわゆるデジタル弱者のフォロー」に関連して）

- 本会議関係省庁・団体では、従来より、国民の各種金融トラブルや金融取引に関する相談等に対応するため、面談や電話、郵便、メールのうちそれぞれが指定する方法による相談窓口を設けている。このうち、面談での相談については、実施団体の多くで、今般のコロナ禍を受けて休止している。
- 相談案件としては、事業資金や住宅ローン等借入れの返済条件の変更と各種融資・給付制度の照会が中心で、相談件数としては、本年4～6月期に大幅に増加した（その後、減少に転じている状況）。こうした状況に対しては、専用ダイヤルを設けたり（「新型コロナウイルスに関する金融庁相談ダイヤル」）、GW 期間中も相談に応じる（全銀協）などの対応を行っている。

—— なお、金広委ホームページに掲載している「借入返済額シミュレーション」へのアクセスが急増している点からも、借入金の返済や新規の借入れに関するサポートが求められていることが窺われる。

以 上

関係省庁・団体作成の動画教材、コンテンツ

(1) 講義動画

作成団体	名称	リリース年月	主な出演者	対象層	概要
金融庁	高校生向けオンライン授業動画及び教員向け解説動画	作成中(2020年12月頃完成予定)	金融庁職員	高校生	成年年齢引下げに向けて、金融経済教育の機会確保や教員の支援のため、短時間でも効率よく、その内容を学ぶことができるように、高校生及び教員向け動画を作成・配信。
日本損害保険協会	明るい未来へTRY!～リスクと備え～(動画版)	作成中	—	高校生 大学生	生徒がオンライン上でも分かりやすくリスクと損害保険について学習できる動画教材。
生命保険文化センター	(名称未定)「生命保険の契約にあたっての手引」の動画化	作成中	各団体が選定した内部の講師	社会人	生命保険契約等に関する手引きの動画化。
消費者庁	「社会への扉」動画版(生徒用、教師用)	2020年10月	外部講師	高校生	高校を中心とした学校関係者を対象に、消費者教育教材として発行された冊子の内容を動画で提供するもの。
日本損害保険協会	交通事故・自転車事故にかかる動画教材	2020年10月	—	高校生	対面式の講師派遣が実施できない場合の代替として、授業や生徒の自習で交通事故に関するリスクや損害保険の役割が1時間(50分)で学習できるツール。
日本証券業協会	知って得する! 資産運用の基礎知識	2020年9月	日本証券業協会 金融・証券インストラクター	社会人	証券投資に興味関心を持つ未経験者・初心者の方に向けて、基礎知識をテーマ別に講義形式で解説する動画(12テーマ)を提供。
日本FP協会	FPが教える家計再建のポイント	2020年5月	協会会員	生活者	新型コロナウイルス感染症によって家計に影響の出ている方の家計再建
投資信託協会	解説動画シリーズ	2020年5月1日から順次12本公開	FP等の資産運用の専門家	投資未経験者 投資初心者	一定の関心のある者及びまだ関心のない者に対して、投資信託を活用した資産形成、開示資料の読み方、ファンドの基本などを解説
日本損害保険協会	ぼうさい探検隊マップアプリ	2020年4月	—	小学生	地域の防災・防犯・交通安全に関するマップの作成をサポートするツール。資産保全にかかるリスクマネジメントの基礎を学ぶ機会を提供する。
全国銀行協会	【お金のキホン】多重債務・クレジットとローン(動画型教材)	2016年3月	選定した外部の人物(ドラマの配役)	高校生・大学生・指導者	多重債務に陥る怖さや対策について、またクレジットとローンの仕組みについてのドラマ仕立ての映像。
全国銀行協会	はじめての金融リテラシー	2015年	選定した外部の人物(ドラマの配役)	大学生・若手社会人・一般社会人・高齢者	ある家族のお金や金融に関するなげない会話について、ガイド役がわかりやすく解説。 1. 資金計画と資産運用の意義、 2. ローン・クレジットの基本的な特徴、 3. 資産運用のポイント、 という3つのテーマ、9つの動画で構成されており、気軽に基礎的な「金融リテラシー」を学ぶのに適している(実写・15分)。

(2)啓発動画

作成団体	名称	リリース年月	主な出演者	対象層	概要
全国銀行協会	「お金のキホン講座」および「資産形成の王子様」(予定)	2021年1月(予定)	キャラクター(声優出演)	大学生・若手社会人・一般社会人	若年層が自身の家計管理に関する考え方を客観視し、見直すべきポイントを理解・改善するよう促す。家計管理が資産形成の基礎を築くものであることを強調。
金融庁	金融庁ちょっと教えてシリーズ	2020年11月	大学教授等の有識者	大学生・若手社会人	大学生や若手社会人向けに、金融知識や資産形成について学べるよう、有識者による約10分の解説動画を配信。
東京証券取引所	JPXアカデミーオンライン講座(アリとキリギリス)	2020年10月	アリとキリギリス(アニメ)	大学生・若手社会人	若手社員(キリギリス君)が上司(アリ課長)にコツコツ貯めるコツを論ずるコント動画(52秒)
日本証券業協会	桐谷さんが語る!“株主優待”から知る 株式投資の意義・魅力	2020年10月	個人投資家桐谷広人氏 日本証券業協会 金融・証券インストラクター	社会人	証券投資に興味関心を持つ未経験者・初心者の方向けに、“株主優待”より株式投資の意義・魅力を知る動画を提供。
日本FP協会	夢をかなえるライフプランニング教室	2020年9月	アニメーション	小学生	ライフプランの立て方から 自分のライフプランシートを作成するアクティブラーニングができる動画。
投資信託協会	投資信託協会会長との対談動画シリーズ	2020年6月15日から順次7本公開	運用会社役員 大学教授 投資信託協会会長	投資未経験者 投資初心者	一定の関心のある者及びまだ関心のない者に対して、投資とキャリア形成や、資産形成と行動経済学の関わりについて情報を提供
投資信託協会及び協会理事、会員会社	メッセージ動画 「継続は力なり! Stay the course!」	2020年3月27日から順次15本公開	投資信託協会理事、会員会社	投資信託の投資者全般	長期に投資を続けていくことの重要性を発信 ／投資信託の投資者全般を対象
投資信託協会	動画 「姫様、投資信託を始めるの巻」 「姫様、投資信託で国を豊かにの巻」	2020年3月	俳優	投資未経験者 投資初心者	一定の関心のある者及びまだ関心のない者に対して、投資信託を活用した資産形成の重要性を発信
投資信託協会	解説動画 「『つみたてNISA』～なぜ はじめやすい?」	2020年1月	アニメーション	投資未経験者 若年層	一定の関心のある者及びまだ関心のない者に対して、つみたてNISAの特徴を解説
投資信託協会	フォーラム録画動画 投信フォーラム第二部 「どう使う? 知って得するNISAと確定拠出年金」	2019年11月15日から順次5本公開	運用会社の専門家 FP 著名人	投資未経験者 投資初心者	一定の関心のある者及びまだ関心のない者に対して、NISAと確定拠出年金についての情報を提供
日本FP協会	テレビCM	2019年9月	タレント	生活者	FP業務及びCFP®・AFP資格の認知向上が目的 「(1)当該分野に関心のない人への興味喚起」に加え関心のある層への更なる興味喚起の目的もあり

日経BP 投資信託協会	セミナー録画動画 「知って得する投資信託・実践 活用術～つみたてNISAとiDeCo で未来へ資産を育てよう～」	2019年7月	FP山崎俊輔 氏 日経CNBC キャスター改 野由香氏	投資未経験者 投資初心者	一定の関心のある者及びまだ関心のない 者に対して、つみたてNISAやiDeCoについ ての情報を提供
生命保険協会	ライフプランのいろいろ	2019年2月	生命保険協 会にて選定 した若年社 会人と同年 代の俳優	若手社会人を 中心とした若 年層	ライフプラン・資産形成・保険を切り口に人 生100年時代に必要な知識を気軽に学ぶ ことができるショートムービーを提供。
全国銀行協会	金融犯罪にご用心！	2018年3月	選定した外 部の人物(ド ラマの配役)	大学生・若手 社会人・一般 社会人・高齢 社会人	金融犯罪防止啓発ビデオ。特に気をつけ ていただきたい金融犯罪の最新の手口と その対策について、「キャッシュカード手交 型詐欺」、「還付金等詐欺」、に分けて、分 かりやすくご紹介(実写・約19分)。
信託協会	動画で学ぶ信託 基本編 活用・実例編	2018年1月	俳優(ドラマ 形式)	大学生、社会 人	主に、信託について一定の関心・向学心 を持つ大学生・社会人向けに、「基礎編」 では最低限必要な信託の知識や各種の 信託商品について全般的に、「活用・実例 編」では、個人向け信託商品の具体的な 活用事例について、それぞれ学ぶ機会を 提供。
日本証券業協 会	金融リテラシーと将来設計	2015年4月	アニメーシ ョン	生徒	生徒の理解促進を図るため、金融・証券 に関する用語をアニメーション動画で解 説。
金融広報中央 委員会	18歳が、変わる！—アキラとマ モルバンド編～成年年齢引き 下げについて、見てわかる動画	2019年4月	アニメーシ ョン	中学生～高校 生	2022年4月から成年年齢が引き下げられ ることに対応するための教材として、動画 (DVD)を作成しました。主に高等学校や 中学校で生徒の方々に楽しみながら学ん で頂くための約2分のアニメーション動画 です。「18歳までに学ぶ 契約の知恵」(テ キスト)と併せて活用できます。
金融広報中央 委員会	ホシガリ姫の冒険	1990年度	アニメーシ ョン	小学生(低学 年)	わがままでぜいたくに育ったカトリーヌ姫 が、懲らしめの魔法により姿形を変えられ てしまい、貧しいジャンの家で暮らすうち に、素直で思いやりのある子どもへと成長 していくストーリー。子ども達に健全な生 活習慣を身につけることの重要性をわか りやすく訴えるミュージカル・アニメーシ ョン。

(3)教員向け

作成団体	名称	リリース年月	主な内容・分野	主な出演者	対象層	コンテンツ作成の目的	より具体的な目的等 /「その他」の内容	掲載場所
日本損害保険協会	明るい未来へTRY!～リスクと備え～(教員向け展開例)	作成中	教員が教材を用いた授業を実施する上でのポイント	—	高校教員	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	教員が「明るい未来へTRY!」(冊子や動画)を用いて授業をする際の参考となるように、展開例を紹介する動画。	当協会のHPに掲載予定
生命保険協会	高校生向けの保険教育モデル授業動画(仮称)	2021年4月(予定)	保険教育	未定	高等学校の教員	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	高等学校の教員が自ら保険教育授業を実施できる環境を整備するため、高校生向けのモデル授業動画を提供。	生命保険協会HP(予定)
日本証券業協会	証券・経済セミナー	2021年1月～2月	金融分野共通	大学教授、シンクタンク研究員他	教員	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	公民科・社会科等の教員を対象に、経済・金融・資本市場に関するタイムリーな情報や、本協会が提供する副教材等の講義を、オンデマンドで提供。	外部委託先の動画配信システムに掲載(申込者のみ視聴可)
全国銀行協会	生活設計・マネープランゲーム教員向けレクチャー動画	2020年11月	資金管理と意思決定、貯蓄の意義と資産運用、生活設計、事故・災害・病気などへの備え、経済把握、自立した消費者、働く意義と職業選択、生きる意欲と活力/家計管理、生活設計、金融分野共通、保険商品、ローン・クレジット	選定した外部の講師	指導者(教員)	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	本教材に対して関心を持っているものの、自ら授業で実施する自信のない教員を対象としたレクチャー動画。	YouTubeに掲載
日本証券業協会	金融経済セミナー	2020年8月～9月	金融リテラシー全般	大学教授、FP他	教員	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	金融・証券に関する基礎知識や新学習指導要領を踏まえた金融経済教育に関する講義をオンデマンドで提供。(申込者のみ視聴可)	外部委託先の動画配信システムに掲載(申込者のみ視聴可)
日本証券業協会	子どもたちに伝えたい金融リテラシー入門	2017年10月	金融リテラシー全般	大学教授	教員	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	公財)才能開発教育研究財団が実施している、教員が10年に一度受講が義務付けられている教員免許状更新講習の研究コンテンツを提供	才能開発教育研究財団HP(研修受講者のみ視聴可)
金融広報中央委員会	「先生のための金融教育セミナー」オンライン開催	2020年10月～2021年1月	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における金融教育	小学校～高等学校、特別支援学校の教員	教員および教職を目指す大学生、大学院生	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	小学校・中学校・高等学校、特別支援学校における金融教育の取組みに関する実践報告(オンデマンド動画配信。申込者のみ視聴可)。	当該セミナー専用サイトに掲載
金融広報中央委員会	「金融教育フェスタ」における「先生のための金融教育セミナー」	2021年1月	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における金融教育	大学および高等学校の教員	教員および教職を目指す大学生、大学院生	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	大学の教員による講演、高等学校の教員による実践報告とワークショップ(オンライン<ライブ配信>。申込者のみ参加可)。	当該フェスタ専用サイトに掲載
金融広報中央委員会	見てわかる!金融教育—授業の進め方	2010年度	金融リテラシー全般	小学校～高校の教員	小学校～高校の教員	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	小学校・中学校・高等学校における金融教育の取組みを映像で紹介。各実践事例をそれぞれ約10分間で把握できる。また、「金融教育とは」、「研究校とは」との疑問にも答える。	当委員会HPに掲載※「金融教育とは」はYouTubeにも掲載
金融経済教育推進会議	大学における金融教育の授業担当者等向けDVD	2017年9月	金融リテラシー全般	大学講師	大学講師	(2)当該分野に一定の関心のある人への一般的な学習機会の提供	大学生が最低限身に付けるべき金融リテラシーに関する講義の模様を映像化した、講師育成用の研修用教材。	DVD配布

金融経済教育 e-ラーニング講座（大学生・若年社会人向け）一覧

1. モチベーション動画

担当団体	目的	概要
金融庁、金広委	・人生における金融リテラシーの必要性を啓発し、本講座受講のインセンティブを高めること。	・著名な有識者（学者、タレント等）へのインタビュー、e-ラーニング講座への誘導。

2. コンテンツ動画（テーマ毎に習熟度確認テストを設ける。また、テーマに関する団体HPへのリンクを貼る）

分野	テーマ	担当団体	主な内容（キーワード）	対応する金融リテラシー調査の正誤問題	演習（例）
金融と経済	金融とは	金融庁	世の中のお金の流れ（国内外の金融）、金融リテラシーの意義と重要性の増大（大学生目線の必要性やSDGsを含む）		
	金利の基礎	金広委	金利の定義（利子・利息・利回りの違い）、長期金利と短期金利、単利と複利、「72の法則」	Q12：生活設計（複利計算） Q18：金融経済の基礎（単利計算） Q19：金融経済の基礎（単利と複利） Q31：ローン等（72の法則）	・金利計算のシミュレーション（複利の効果を実感する）
	金利と経済		インフレとデフレ、インフレと資産価値、景気・物価と金利の関係、名目金利と実質金利、	Q20：金融経済の基礎（インフレと金利） Q21-1：金融経済の基礎（インフレ）	
	金融商品		金利と金融商品（債券、株式）・為替相場との関係、割引現在価値	Q22：金融経済の基礎（金利と債券価格）	
	キャッシュレス決済		主なキャッシュレス決済手段と特徴、フィンテック（暗号資産、CBDC）		
ライフプラン	生活設計	FP協会	ライフデザイン、ファイナンシャルプランニング、ライフイベントと資金計画、人生の3大費用+直近のライフイベント費用（就職・結婚・出産等）、機会費用	Q13：生活設計（人生の3大費用） Q26：保険（保険の見直し）	・今後10年のライフイベントとその費用について
	家計管理		収入・支出の把握（含む家計簿）、可処分所得（給与明細の見方を含む税金・社会保険費の知識）、固定費・変動費（含む家計の見直しのコツ：固定費の削減）、緊急時資金、天引き貯蓄（収入ー貯蓄＝支出）、ニーズとウォンツ、家計と名義	Q4：家計管理（収支管理、ニーズ・ウォンツ、天引き、分割払いの多用）	・支出（固定費・変動費）の見直し
お金を借りる	ローンの基礎	全銀協	ローンの役割、ローンの種類と金利（信用度と金利の関係を含む）、個人信用情報機関と役割（延滞の影響を含む）、多重債務問題と予防	Q5：家計管理（クレジットカード）	
	クレジットカード		クレジットカードの役割（キャッシングを含む）、クレジットカード利用の流れ、支払方法（一括払い、分割払い、リボ払い）と手数料、利用上の注意	Q4：家計管理（収支、ニーズ・ウォンツ、天引き、分割払いの多用） Q5：家計管理（クレジットカード）	
	住宅ローン		住宅ローンの役割（住宅の種類と価格を含む）、住宅ローンの金利（固定金利と変動金利の比較等）、総返済額を減らす（頭金、返済方法、税制上の支援、繰上げ返済、借換え等）、利用上の注意	Q21-2：ローン等（住宅ローン） Q23：金融経済の基礎（固定金利と変動金利） Q30：ローン等（住宅ローン）	・住宅ローンの返済シミュレーション
	奨学金	学生支援機構（文部科学省）	奨学金制度の意義、主な奨学金制度、利用時の注意事項（延滞の影響等）		・奨学金の返済シミュレーション
お金を増やす	主な金融商品・制度の特徴	金広委	金融商品を選択・見直しする際の大事な視点（安全性・収益性・流動性、リスク・リターンの関係）、リスク許容度、iDeCo・つみたてNISAの紹介	Q21-3：資産形成（リスクとリターン） Q33：資産形成（預金保険） Q36：外部知見活用（未知の金融商品） Q37：外部知見活用（複雑な金融商品）	
	投資リスクの管理	東証・日証協・投信協	ドルコスト平均法、分散投資の理論と効果、目論見書・運用報告書の見方	Q21-4：資産形成（分散投資）	・長期・積立・分散投資効果のシミュレーション
リスクに備える	生命保険	生保文化センター	社会保険制度の概要、生命保険が対象とするリスクと保障内容	Q25：保険（基本的な働き） Q28：保険（保険料納付、自賠責、生命保険、医療保険）	
	損害保険	損保協	損害保険が対象とするリスクと保障内容、身近な保険（バイク、共済など）		
トラブルを避ける	消費者トラブル事例と知っておきたい契約等の基礎知識	消費者庁（協力：国民生活センター）	20歳代に多い相談事例（ネット関連以外）、トラブルに遭わないための基礎知識と188（消費生活センターの紹介）	Q14：金融取引の基本（契約） Q15：金融取引の基本（金融トラブル） Q16：金融取引の基本（インターネット取引） Q38：外部知見活用（相談窓口）	
			ネットを介する相談事例、トラブルに遭わないための基礎知識と188（消費生活センターの紹介）		

金融経済教育推進会議 e ラーニング講座制作
今後のスケジュール感

	担当団体	事務局
2020年12月	金融経済教育推進会議 シナリオ作成	委託業者選定
2021年1月	↓	確認・調整
2月	↓	資料プロトタイプ作成
3月	資料・習熟度テスト作成 ←	確認・調整
4月	発言原稿等作成 ↓	業者との要件調整
5月	↓	確認・調整
6月	(資料、原稿等完成) ← 金融経済教育推進会議 撮影・編集	ロゴ決定 プラットフォーム準備
7月	↓	↓
8月	←	確認・調整
9月	↓	↓
	金融経済教育推進会議	開講

コロナ禍での一般照会窓口の対応状況

— 「いわゆるデジタル弱者のフォロー」に関連して —

緑シャドウ：照会件数の特徴

黄シャドウ：対面での窓口対応中止の動き

	金融庁	全銀協	日証協	投信協会	生保文化センター	損保協会	FP協会	東証	信託協会	金広委
コロナ禍での一般照会窓口への照会・相談等の特徴と今後の課題	<p>【照会窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融サービス利用者相談室においては、本年2月、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、金融機関等との取引に関する相談等を受け付ける「新型コロナウイルスに関する金融庁相談ダイヤル」を開設。 <p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 同室に寄せられた相談等の受付件数は、令和元年10～12月期の8,483件に比べて、令和2年1～3月期は9,644件(うち新型コロナウイルス関連:1,212件)、4～6月期は17,361件(同7,720件)と大幅に増加したが、7～9月期は10,925件(同1,010件)となっており、足許の相談件数は減少してきている。 新型コロナウイルス関連の主な相談としては、「コロナの影響で会社の収入が減って返済が苦しいので、条件変更に応じてほしい」、「コロナ関連の中小企業向けの融資施策について教えてほしい」といった融資・条件変更に関する事業者からの相談や、住宅ローン等の返済に関する個人からの相談が多い。 	<p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月～6月において、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、住宅ローン等の返済困難に関するカウンセリングサービスへの相談や、事業資金の新規融資、返済条件の変更、制度融資・給付金の受取手続きなど中小企業の資金繰りに関する相談、手形の不渡りに関する問い合わせが大幅に増加した。また、銀行窓口・ATMの消毒徹底などの感染予防や、銀行への電話がつかないといった苦情が寄せられた。 銀行はGW期間中も融資相談等に係る相談窓口を開けたり、電話照会を受けるなどの対応を実施しており、全銀協は各行の相談窓口等を取りまとめ全銀協ウェブサイトに掲載。 <https://www.zenginkyo.or.jp/topic/covid19-gw/> また、全銀協相談室もGW期間中に新型コロナウイルスに関する相談電話を受付けたほか、カウンセリングサービス等に関する相談は予約制にすることで対応。 	<p>【照会窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般からの意見・照会を、電話、本協会ウェブサイト(問合せ窓口)及び郵便等により受け付け。 また、「株や社債をかたった投資詐欺」被害防止コールセンター」を設けている。 本協会を含む金融商品取引業協会7団体では、金融商品取引業者等と顧客との間の取引に関する苦情・相談等業務について、「証券・金融商品あっせん相談センター」(FINMAC)に委託。 	<p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 照会件数は、本年4月1日以降の状況を見ると40件程度。 照会の多い内容は、次のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 協会ホームページの利用方法や規則に関するもの。 ファンドの販売会社、基準価額や運用成績の情報の入手方法、購入や解約の基礎知識に関するもの。 ファンドのタイプの特徴や個別商品の内容に関するもの等。 コロナ禍以降も、相談等の特徴はコロナ禍以前と比較し、特に大きな相違、件数の変化は見られない。 	<p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍に関連した相談(相談者側から「新型コロナウイルス」のキーワードに触れたもの)は、3月～10月度の相談件数859件中25件(2.9%)。 保険料払込猶予期間の延長、新型コロナウイルスを原因とする災害死亡保険金の支払い等、コロナ関連の特別措置に関する相談が寄せられたほか、収入減少に伴う保険見直しの相談や保険金・給付金等によって生命保険会社の健全性が損なわれないかといった相談も散見された。 ソーシャルディスタンスを確保することが困難なことから、来訪による相談については、4月以降休止している(電話対応のみ実施)。 	<p>【照会窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様対応窓口である「そんぽADRセンター」では、一般的な損害保険に関する相談に対応するほか、保険業法に基づく指定紛争解決機関として、損害保険会社とのトラブルが解決しない場合の苦情の受付や損害保険会社との間の紛争解決のための業務を行っている。 <p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年度第1四半期の相談・苦情の受付件数は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 相談 4,758件(前年度同期比△691件) 苦情 1,958件(前年度同期比△478件) 感染拡大防止のため、現在、来訪相談・出張相談を中止している。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT技術のより一層の活用推進。 	<p>【照会の特徴】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活者からの照会・相談(4月～10月) <ol style="list-style-type: none"> コロナ関連の照会・相談件数65件(内訳:対面36件、電話29件) 全相談件数に対する、コロナ関連の照会・相談内容を含む割合5.5%(内訳:対面5.7%、電話5.4%) 主な照会・相談内容 <ol style="list-style-type: none"> 収入減、②就業困難(解雇を含む)、③資産運用 今後の課題 <ul style="list-style-type: none"> 家計に影響が出た生活者を対象とした無料のセミナーや相談会の継続実施の検討 対面形式でのイベントを実施する場合の感染症対策について オンライン相談やオンラインイベントの実施について 協会会員からの照会・相談(4月～10月) <ol style="list-style-type: none"> コロナ関連の照会・相談件数324件(内訳:電話730件、メール94件) 主な照会・相談内容 <ol style="list-style-type: none"> 資格更新、②FP試験(実施の可否等)、③退会、④会費減免 	<p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 見学再開時期に関する問合せ(現在、団体、個人とも中止) リアルセミナーの再開時期に関する問合せ(受講対象者がテレビ会議等の利用が不得手なケース) 市場運営の継続を最優先事項としていたため、コロナが収束するまでは、見学・リアルセミナーは行わない方針。 	<p>【照会窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般消費者からの信託に関する照会、相談等の窓口として「信託相談所」を設置している。受付方法は主に電話(フリーダイヤル)で、郵送や来訪でも受け付けている。 ただし、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、本年4月以降、来訪での相談受付は中止している。 あっせんに移行した場合には「あっせん委員会」を開催することとなるが、申立人の希望により対面またはオンラインにて対応することとしている(現時点でオンラインでの開催を希望した申立人はいない)。 <p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平時における相談者、内容、件数の傾向と、コロナ禍における傾向とで特段の違いは認められない。 相談者の特徴として、年齢層としては比較的高齢の方が多く、地域的な広がりについては(信託協会の事業所は1か所(東京)であることから)全国にわたることが指摘できる。 	<p>【照会の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 知るぼるとホームページに掲載している一般照会用メールアドレスへの照会件数は、2020年4～10月合計で162件と、前年同期間と同数。照会の内容面でも、コロナ禍前と特段変わりはない(金広委作成刊行物や調査結果に関するもの、コンテンツの利用に関するもの等が中心)。 但し、知るぼるとホームページへのアクセス状況を見ると、「借入返済額シミュレーション」へのアクセスが大幅増(昨年度月平均:2.8万件→今年度10月までの月平均:11万件)となっており、新たに借入や借換えを検討または行った方が増えていることが推測される。

	金融庁	全銀協	日証協	投信協会	生保文化センター	損保協会	FP協会	東証	信託協会	金広委
	<p>・なお、直近の7～9月期においては、詐欺的な投資勧誘に関する情報が212件（前期比+148件）と増加しており、そのうち161件（同+117件）が何らかの被害にあつたものとなっている。特に、20代以下の若年層を中心に、友人、SNSやマッチングアプリを通じて投資詐欺に遭ったという相談が増加。今後注視していく。</p>	<p>・一方で、7月～9月においては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた、住宅ローン等の返済困難に関するカウンセリングサービスへの相談や、事業資金の新規融資・返済条件の変更・制度融資・給付金の受取手続きなど中小企業の資金繰りに関する相談、手形の不渡りに関する問い合わせは、前期（4月～6月）に比して大幅に減少した。</p> <p>（「全国銀行協会相談室・あっせん委員会の運営状況」（2020年度第1四半期および第2四半期）参照）</p>					<p>(3) 照会・相談内容に対する主な対応等</p> <p>① 資格更新 AFP認定者（協会資格）に関して、資格更新手続きを最大6か月間猶予し、猶予期間中の必要単位取得を認める</p> <p>② FP試験 6月に実施予定だったCFP®資格審査試験の中止に伴い、CFP®認定者を目指す会員への支援策として、2020年度第2回CFP®資格審査試験のみの特例として複数課目出願時の受験料割引を拡大しての実施</p> <p>(4) 今後の課題 入会者数、AFP資格更新率、退会者の動向</p>		<p>・内容、件数の特徴としては、特定障害者の生活の安定を図るための特定贈与信託、後見制度支援信託および教育資金贈与信託に関するものや、遺言の執行等を行う相続関連業務に関する照会・相談の割合が比較的多い。</p> <p>・なお、コロナ禍に起因する相談等は、これまで1件のみである。</p> <p>【今後の課題】 ・相談窓口へのアクセス向上（オンラインによる相談受付）。</p>	

以上

高校生及び教員向け動画の作成・配信について

概要

- 令和4年度からの成年年齢引下げを見据え、「若年者への消費者教育推進に関するアクションプログラム」に基づき、平成30年度から令和2年度までの3年間を集中強化期間として関係省庁が連携して取り組みを推進。
- 金融庁・財務局では、高校等での出張授業や教員向け研修会等への講師派遣等、金融経済教育の推進に取り組んできたが、本年度においては、コロナ禍の影響でそうした機会が減少している状況。
- このため、金融経済教育の機会確保や高校等の教員の支援のため、金融経済教育に係る授業動画等を作成し、オンライン上で配信※。

※消費者庁(消費者教育)、法務省(法教育)と連携して配信。文科省経由で動画を授業や自習教材として活用するよう教育委員会に周知済み。

内容

■ 生徒向け授業動画

【構成】 10分程度×6本

【項目】 高校生のための金融リテラシー講座

- ① 家計管理とライフプランニング
- ② 「使う」
- ③ 「貯める・増やす」～資産形成
- ④ 「備える」～社会保険と民間保険
- ⑤ 「借りる」
- ⑥ 金融トラブル

■ 教員向け解説動画

【構成】 20分程度×2本

- 【項目】
- ① 成年年齢引下げを踏まえた金融経済教育
 - ② 生徒向け授業動画の解説

【動画掲載URL】

<https://gacco.org/syotyou/>



※講座の受講には「gacco」への登録が必要。

(金融庁の講座は、12月中に配信開始予定)

(参考)  について

- 「gacco」とは、(株)ドコモgaccoが運営するオンライン学習サービスで、日本版の「MOOC (Massive Open Online Courses)」。
- 会員登録者数85万人超。大学教授等による講義を無料で受けられるサービスであり、これまでに1000講座以上が開講されている。

生徒用動画

高校生のための金融リテラシー講座

金融庁



はじめに

当てはまるものはありますか？

- 一人暮らしをしたい
- 海外留学したい
- やってみたい仕事がある
- お金を上手に貯めたい
- クレジットカードを持ちたい
- 「確実に儲かる投資がある」と聞いた

1

はじめに

金融リテラシーが高いと、

- ✓ 家計管理がしっかりしていて、借金が少ない
- ✓ 計画を立ててお金を準備しているので、やりたいことを実現しやすい
- ✓ 緊急時の備えがあるので、危機（自身のケガや病気、不景気による収入減など）に強い
- ✓ 詐欺や借金などのトラブルにあうことが少ない
- ✓ 経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる

2

はじめに

- (1) **成年年齢が20歳から18歳に引き下げ**られることが決まり、**2022年4月**から実施されます。
- (2) 夢の実現。将来への備え。
どちらにとっても**お金の知識**が重要な鍵です。
- (3) 社会人として経済的に自立し、より良い暮らしを送るために、**お金に関する知識と判断力（金融リテラシー）**を身につけましょう。

3

目次

- 1 家計管理とライフプランニング
～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について
- 2 「使う」
- 3 「貯める・増やす」～ 資産形成
- 4 「備える」～ 社会保険と民間保険
- 5 「借りる」
- 6 金融トラブル
- 7 まとめ

1 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1-1. 家計管理

家庭生活を営むための収入と支出の運営を管理することを「家計管理」といいます。

高校生の場合

収入

小遣い
お年玉
アルバイト代

支出

お菓子
友人との遊び
ゲーム
本・雑誌
洋服
など



大学生や社会人になって、ひとり暮らしをする場合、
どのようなお金が必要でしょうか？

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1-1. 家計管理

大学生の場合

収入

仕送り
アルバイト代
奨学金

社会人の場合

収入

給与
賞与(ボーナス)

支出

食費	飲食などに必要なお金
住居費	家賃など
水道光熱費	電気・水道・ガスの料金
通信費	電話やインターネットの料金
交通費	移動するのに必要なお金
被服費	洋服など
教養娯楽費	学習や娯楽に使うお金
そのほか	冠婚葬祭や医療費など

+

貯蓄

使わずに貯めておくお金

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1-2. 給与明細から手取り収入を把握

毎月の給与明細や賞与の支給明細から、手取り収入を把握し、貯蓄や支出の基準にしましょう。

給与明細の例

(単位：円)

支給	基本給	時間外手当	通勤手当		支給額計
	200,000	8,000	10,000		218,000
控除	雇用保険	健康保険	厚生年金保険	介護保険	社会保険料計
	654	10,890	20,130	0	31,674
	所得税	住民税			税額計
	3,910	7,200			11,110

$$\text{支給額} - (\text{税金} + \text{社会保険料}) = \text{手取り収入}$$

$$218,000 \text{ 円} - (11,110 \text{ 円} + 31,674 \text{ 円}) = 175,216 \text{ 円}$$

(出所) 金融広報中央委員会「大学生のための人生とお金の知恵」(2019年7月)

8

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1-3. 家計管理のポイント

$$\times \text{ 収入} - \text{支出} = \text{貯蓄}$$

$$\circ \text{ 収入} - \text{貯蓄} = \text{支出}$$

9

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1-3. 生涯の収入と支出

- (1) 「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを、「ライフデザイン」といいます。
- (2) 将来の夢、将来やりたいこと、希望するライフデザインのために、どうお金を準備するか、考えましょう。
- (3) 生涯の収入、支出のイメージをつかみましょう。収入と支出のバランスをとることが大事です。

10

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

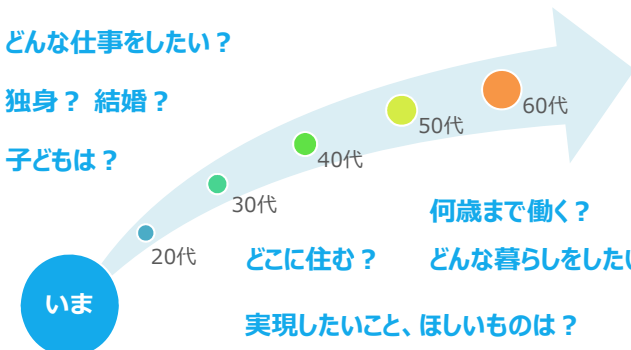
1-4. ライフプランニング

ライフプランニング = 人生の希望や計画を具体的に時系列で描くこと

どんな仕事をしたい？

独身？ 結婚？

子どもは？



11

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1-5. 多様な働き方（稼ぎ方）

(1) 雇用される

- 例) ・ **会社員（正社員、派遣社員）**
 ・ **公務員**
 ・ **アルバイト、フリーター***1 など

(*1) 和製造語で、フリーアルバイトの略称。

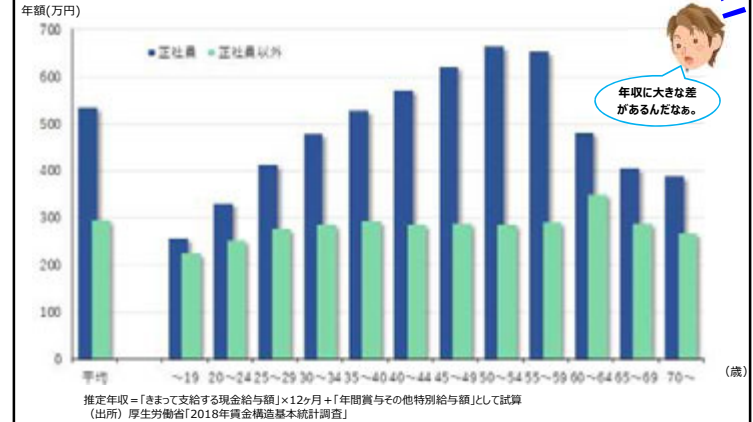
(2) それ以外

- 例) ・ **家業などを継ぐ**
 ・ **起業する**（会社を起こす）
 ・ **フリーランス**（Freelance：自由契約者）*2 など

(*2) フリーランサー（Freelancer）ともいう。

1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

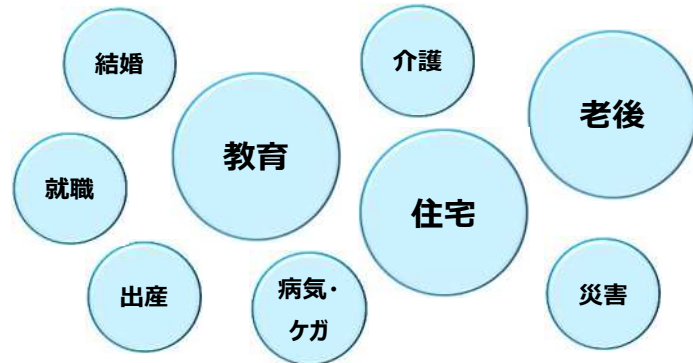
1-6. 雇用形態による年収の違い



1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

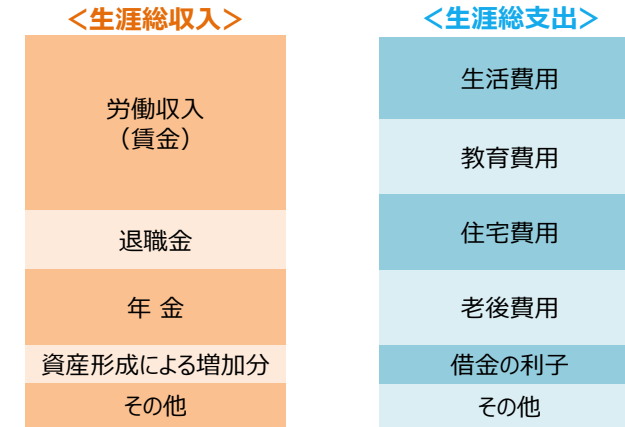
1-7. 人生の3大費用とは

一般的に、人生の3大費用は、「**教育**」「**住宅**」「**老後**」費用と言われています。
 (もちろん、個人によって、出来事や費用の大きさ、支出の順序には違いがあります)



1. 家計管理とライフプランニング ～働いて「稼ぐ」ことと将来設計について

1-8. 生涯の収支バランスのイメージ



※会社員や公務員の場合のイメージ

2 「使う」

16

2. 「使う」

2-1. お金を「使う」際の意味決定

- (1) お金を貯めたり、増やしたりしてから買う
- (2) 手持ちのお金で買う
- (3) お金を借りて買う（ローン、クレジット）

17

2. 「使う」

2-2. ニーズとウォンツ

- (1) 「**必要なもの**」と「**欲しいもの**」を区別し、お金の使い方を考える時は、「それは**必要なもの**（ニーズ/needs）**なのか、欲しいもの**（ウォンツ/wants）**なのか**」、自問してみましょう。
- (2) 「**必要なものを優先する**」（欲しいものは余裕があるときに買う）ことを考えてみましょう。

18

2. 「使う」

2-3. キャッシュとキャッシュレス

(1) キャッシュ

物理的な現金（紙幣・硬貨）

現金



(2) キャッシュレス

現金の授受をせず、支払や受取をデジタル化された価値の移転で行うこと

電子マネー

デビットカード

クレジットカード



(出所) キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2019」（2019年4月）より金融庁作成

19

2. 「使う」

2-4. 主なキャッシュレス決済手段と方法

決済手段	前払い (プリペイド)	即時払い (デビット)	後払い (クレジット、ポストペイド)
サービス例	電子マネー (交通系・流通系) プリペイドカード	デビットカード	クレジットカード キャリア決済
支払方法	1回払い	1回払い	1回払い 分割払い ボーナス払い
限度額	入金額	預金口座残高	与信枠

《決済方法》

接触型	非接触型	コード型 (QRコード等)
		

(出所) キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ2019」(2019年4月)より金融庁作成

20

2. 「使う」

2-5. キャッシュレス決済のメリット・注意点

? キャッシュレス決済には、
どのようなメリット・注意点があるでしょうか？

メリット

- ✓ 現金をたくさん持ち歩かなくてよい
- ✓ ATMに立ち寄る回数が減る
- ✓ お金のやり取りが簡単
- ✓ 何にいくら使ったか、アプリで確認できる など

注意点

- ✓ お金が見えにくいので、使いすぎてしまいやすい
- ✓ 店舗によって利用できないこともある
- ✓ 停電時などに使えない
- ✓ 不正送金など犯罪への不安 など

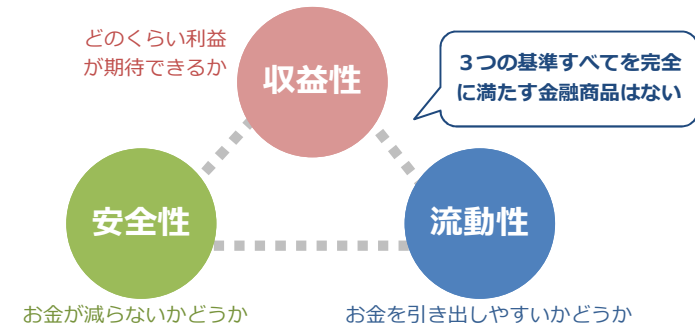
21

3 「貯める・増やす」～資産形成

22

3. 「貯める・増やす」～資産形成

3-1. 金融商品の3つの基準



? みなさんは、どの基準が一番重要だと思いますか？
その理由もあわせて考えてください。

23

3.「貯める・増やす」～資産形成

3-2. 主な金融商品の特徴①

預金 貯金

- ・銀行等にお金を預けること
- ・給与の受け取り、公共料金の引き落としなどでも利用
- ・お金の引き出しが簡単（銀行やコンビニのATMなど）
- ・元本保証あり（元本1,000万円までとその利息）

元本とは、金融商品の購入・投資に充てた資金の額。いわゆる元手です。



⇒ 預金・貯金は、一般的に、**収益性は低い**が、**安全性、流動性は高い**。

24

3.「貯める・増やす」～資産形成

3-3. 利子と金利

(1) 利子（利息）

借りたり貸したりしたお金の、一定の割合で支払われる対価（金額）



(2) 金利（利率）

お金を借りたり貸したりする時の「値段」です。元本に占める利子の割合（%）で表示されます。

(例) 1万円を金利3%（年率）、期間3年で預けた場合

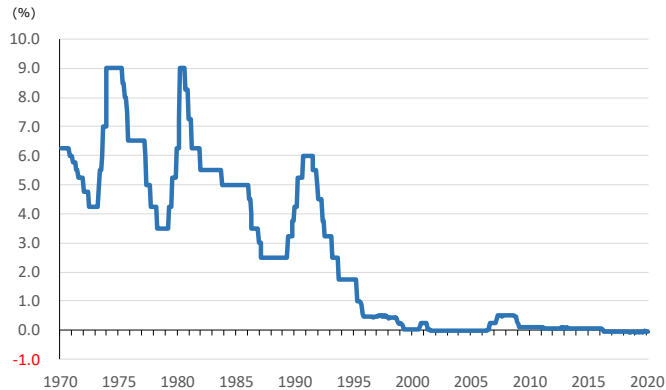
- ・年3%の金利の場合には、10,000円は、1年後に10,300円になる。
- ・10,300円をそのまま預ければ、2年目には、10,609円になる。
- ・3年目には、10,927円（端数は切り捨て）になる。

⇒ 利子も預ければ、その利子にも利子がつく ⇒ 「**複利**」という。

25

3.「貯める・増やす」～資産形成

(参考) 金利の推移



(資料) 日本銀行

(注) ～1995年6月は公定歩合、それ以降は無担保コールO/N月中平均金利

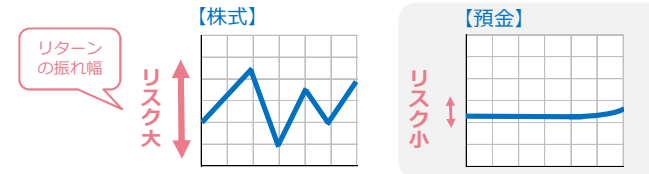
26

3.「貯める・増やす」～資産形成

3-4. 主な金融商品の特徴②

株式

- ・株式会社を設立したり、会社の活動資金を集めるために発行されるもの
- ・購入者（株主）は会社の一部を所有することになり、会社はお金を返す必要はない
- ・会社が上げた利益に応じて配当などを受け取ることができる
- ・会社の業績によって、株式の価値（株価）も変動する



⇒ 株式は、**安全性は低い**が、**高い収益性**が期待できる。

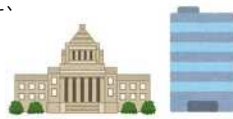
27

3.「貯める・増やす」～資産形成

3-5. 主な金融商品の特徴③

債券

- ・国や会社が多くのからお金を借りるために発行するもの
- ・定期的に利子が支払われ、満期がくれば額面金額を受け取ることができる
- ・国が発行するものを「国債」、会社が発行するものを「社債」という
- ・発行した会社等が倒産すると、返済されない可能性がある



⇒ 債券の**安全性は、発行する国や会社によって異なる**。
一般的に、**収益性は、預金より高く、株式より低い**。

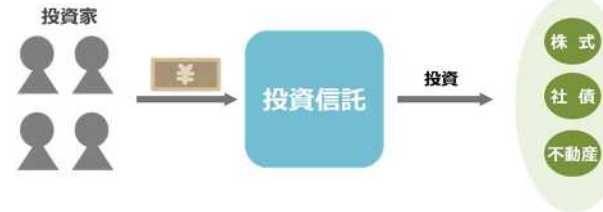
28

3.「貯める・増やす」～資産形成

3-6. 主な金融商品の特徴④

投資信託

- ・多くの人から集めたお金を、1つにまとめて大きな資金にし、株式や債券などに投資する仕組み
- ・価格が日々変動する（元本は保証されていない）
- ・少ない金額から購入できたり、分散投資もしやすい



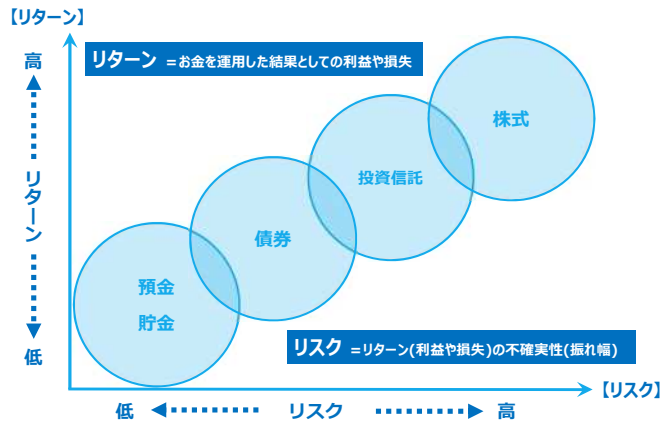
⇒ 投資信託の**収益性、安全性、流動性は、投資対象次第**。

29

3.「貯める・増やす」～資産形成

3-7. リスクとリターン

(注) あくまでもイメージです。厳密な表現ではありませんので、ご注意ください。

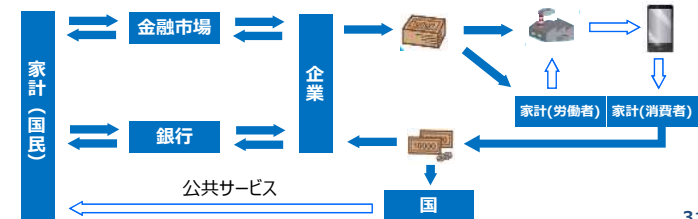


30

3.「貯める・増やす」～資産形成

3-8. 経済と金融

- (1) 企業活動を始め（起業）、継続・拡大するには、元手となるお金が必要
- (2) 株式の発行、融資（＝借入れ）、債券発行
- (3) 企業活動と経済成長と株式価値
- (4) 企業活動と税金
- (5) 税金と公共サービス



31

4 「備える」～ 社会保険と民間保険

32

4. 「備える」～社会保険と民間保険

4-1. 様々なリスク

人生には、病気やケガ、火災や事故など、様々なリスクがあります。
例えば、



バイクで転倒してケガをした



自転車で他人にぶつかってケガをさせてしまった



様々なリスクに対し、どうやって備えるといいでしょうか？

33

4. 「備える」～社会保険と民間保険

4-2. 保険の仕組み

様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合って、
必要なお金が支払われるという仕組みが「**保険**」です。



(出所) 金融庁「基礎から学べる金融ガイド」

34

4. 「備える」～社会保険と民間保険

4-3. 社会保険と民間保険

- (1) 日本には、社会基盤として**社会保険制度***があります。

* 年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労災保険の制度

- (2) ご自身のライフプランにあわせて、社会保険と**資産形成**や**民間保険**（生命保険、損害保険）の利用を組み合わせるとよいでしょう。

生命保険・・・人の生死や病気・ケガを保障する保険

損害保険・・・物が壊れたときの損害などを補償する保険

35

5 「借りる」

36

5. 「借りる」

5-1. 「借りる」とは

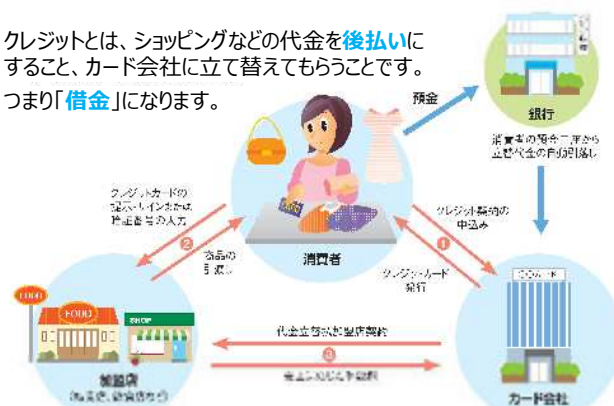
- (1) お金を「借りる」とは、将来の収入の先取りです。
- (2) 住宅のような高額の場合は、必要な金額を貯めるのに時間がかかることが多いので、多くの人が住宅ローンを利用します。
- (3) お金を「借りる」と一般的に利子（金利）が発生します。
- (4) 消費者金融ローンやカードローンなどローンを利用する際は借り過ぎに注意が必要です。
- (5) クレジットカードも、分割払いやリボ払いでは手数料（実質的には金利）が発生します。

37

5. 「借りる」

5-2. クレジットカードの仕組み

クレジットとは、ショッピングなどの代金を後払いにすることで、カード会社に立て替えてもらうことです。つまり「借金」になります。



(出所) 金融庁「基礎から学べる金融ガイド」

38

5. 「借りる」

5-2. お金を借りる



金利17%で20万円を借りて、毎月5,000円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるでしょうか？

- ① 1年、約21万円
- ② 3年、約25万円
- ③ 5年、約29万円

- (1) 借りる前に返済のイメージを持ちましょう！
(毎月の返済額や返済期間を確認する)
- (2) 金利に注意しましょう！

(注) 利息制限法で金利の上限が定められています。例えば、10万円以上100万円未満を借り入れるときの上限は年18%です。これを超える金利は違法です。

39

6 金融トラブル

40

6. 金融トラブル

6-1. 金融トラブルの具体例①

マルチ商法（ネットワークビジネス）

友達づきあい
SNS



バイナリーオプションって知ってる？
分析ツールが入ったUSBを買えば、
簡単に、絶対儲かるよ！

お金がなくても、**学生ローン**で借りるといい。
すぐに利益が出て返せるよ！

誰かを**紹介**すると報酬がもらえるよ！

41

6. 金融トラブル

6-1. 金融トラブルの具体例①

友達づきあい
SNS



暗号資産（仮想通貨）に投資すれば、
月●万円くらいは稼げるよ！

海外の不動産事業に投資すれば、
1年後には●倍になるよ！

トラブル

- 多額の損失が発生した
- 業者と連絡がなくなった
- お金が返ってこない
- 無登録業者に注意！

42

6. 金融トラブル

6-2. 金融トラブルの具体例②

SNS個人間融資

SNS
ネット掲示板



お金を貸します！審査不要！

#個人間融資
#お金貸します
#ひととき融資

トラブル

- ヤミ金融業者により、違法な高金利での貸付けが行われる
- 個人情報が悪用され、犯罪被害やトラブルに巻き込まれる

43

6. 金融トラブル

6-3. 金融トラブルの具体例③

多重債務

- 複数の業者から返しきれない借金を背負ってしまうことがあります。
- 軽い気持ちで高金利の借金をすると、借金はすぐに膨らみます。
- 収入の範囲内で生活すること、高金利の借金をしないことが重要。

多重債務に陥ってしまったら、**多重債務相談窓口**に相談



(出所) 金融庁「基礎から学べる金融ガイド」

44

6. 金融トラブル

6-4. トラブルを避けるには

? **トラブルを避けるには、どうすればよいでしょうか？**

鉄則は3つ！

- (1) **おいしい話には気をつける**
「ローリスク・ハイリターン」はあり得ない＝「おいしい話」は存在しない。
- (2) **向こうから近寄ってきてははっきり断る**
「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮は無用。「いりません」とはっきり言いましょう。
- (3) **万が一トラブルに遭っても、決して諦めない**
ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで道が開ける。

45

6. 金融トラブル

6-5. トラブルに遭ってしまったら

悪質な業者との契約の取り消し・無効

- (1) 未成年者による法律行為
→ **民法**（親などの同意がない等の法律行為の取り消し）
- (2) 不当な契約条項、不当な勧誘による契約
→ **消費者契約法**（条項無効、契約取り消し）
- (3) 訪問販売、訪問購入、電話勧誘、エステ、語学教室、マルチ商法、内職・モニター商法
→ **特定商取引法**（クーリング・オフ制度による解約など）
→ 通信販売（ネット通販含む）はこの法律によるクーリング・オフの対象外！
但し、事業者は返品条件等を表示する要。表示がない場合、8日間は返品が可能（送料は購入者負担）。
* いずれも期限・時効があるので、早めに相談窓口で対処法を相談しよう。

消費者トラブル等に関する相談窓口

- (1) **まずは188番（いやや！）に電話**
→ 消費者ホットラインが、消費生活センターの相談窓口を案内
- (2) **金融サービスについては、金融庁や業界団体等が相談窓口を設置**

46

7 まとめ

47

7. まとめ

- (1) 自分がどのような人生を送りたいのかを考えて、**ライフプラン**を立ててみましょう。
- (2) **収支のバランス**を把握し、**よく考えてからお金を使いましょう。**
- (3) **資産形成**においては、**金融商品の特性やリスク・リターンを理解**し、自己責任で金融商品を選択しましょう。
- (4) **保険**については、**必要な保障（補償）**がどの程度なのか、**自分のライフプランに合わせて**考えましょう。
- (5) 未来のために、**金融リテラシー**を身につけることは、**自分の夢の実現をサポート**してくれるでしょう。
- (6) この講座をきっかけとして、みなさんが少しでも**「金融」**に興味を持ってくれたら幸いです。

48

ありがとうございました

※本資料は、金融経済教育推進会議コアコンテンツをもとに、金融庁が一部資料を修正・追加等して作成したものです。

49